



# こしがや シルバー だより



## 久伊豆神社

撮影：黒田 貴一会員

大国主命（大国さま）と言代主命（恵美須さま）を主祭神とする久伊豆神社は、除災招福の神として、古来より武士や庶民からあつく信仰されてきました。現在も四季折々の祭事が行われており、5月上旬頃に見ごろを迎える境内の藤は昭和16年に埼玉県天然記念物に指定され、藤まつりでは多くの人々を出迎えます。

### — 目 次 —

表紙	久伊豆神社
P 2	新年のご挨拶
P 3	年男・年女のご紹介
P 4、5	市内イベント参加報告
P 6	私たちの住む街
P 7	安全ニュース
P 8	入会のご案内、編集後記

発行 公益社団法人越谷市シルバー人材センター

編集 広報委員会

〒343-0023 越谷市東越谷1-5-6

産業雇用支援施設3階

TEL: 048-967-4311

FAX: 048-962-8300

URL: <http://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>

E-mail: [koshigaya@sjc.ne.jp](mailto:koshigaya@sjc.ne.jp)

# 新年のご挨拶



理事長 吉田 種盛

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様には、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素よりセンター事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

長引く新型コロナウイルスの影響により、当センターの運営も依然として厳しい状況が続いております。

しかしながら、このような状況にあっても会員各位が前向きに元気に就業され、幸い大きな事故もなく運営できた事により、その影響を最小限に抑えられたのではないかと改めて皆様に感謝する次第でございます。

近年の会員数の減少や高齢化に対応するため、これまで各種のPR活動や入会説明会の開催等、会員拡大と新規事業先の開拓に全力を挙げ、ここまで一定の成果は得られたものの、まだ十分とは言えません。引き続きの取り組みと共に、会員の皆さんが安全に生き生きと就業することによって地域に貢献するシルバー人材センターとするため、皆さんと一緒に力を合わせてまいりたいと思っております。

また、会員や発注者様に影響を及ぼす可能性のある令和5年10月より開始されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）の施行に備えた取り組みを強化してまいります。

つきましては会員各位のご理解のもと精一杯努力してまいりますので、なお一層のご協力お願い申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

# 謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

役員一同

理事長	副理事長	常務理事	理事	同
吉田 種盛	奥山 茂子	江原 勝明	稲垣 弘明	遠藤 由紀子

吉田 種盛	奥山 茂子	江原 勝明	稲垣 弘明	遠藤 由紀子	小泉 義男	小林 肇	島田 治	立澤 幸子	土居 曜子	中澤 廣一	中村 次男	山崎 かえで	鈴木 正明	田村 順一	馬場 広志
-------	-------	-------	-------	--------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------

監事	同
田村 順一	馬場 広志

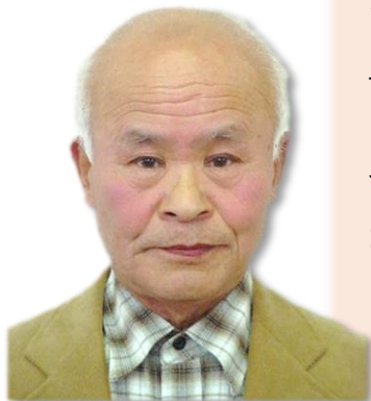


## 会員 selection

## 年男・年女のご紹介



12年に一度、迎えた年と自分の干支が同じ人のことを「年男」「年女」と呼びます。年男・年女には、より多くの加護があるという言い伝えがあり、良い一年を迎えられるという言い伝えがあります。卯年生まれの場合は、117名（令和4年11月30日現在）でした。今回は3名の会員から、シルバー人材センターでの経験談や新年の抱負について伺いました。



会員の皆様あけましておめでとうございます。私は平成22年に入会して、12年目を迎えました。早いもので7回目の年男になります。月日の過ぎるのは早いものですね。

現在2箇所の公園で清掃作業をしております。長くやっている事で、公園に遊びに来る人々とも友だちになり、楽しく会話しながら仕事しております。まだまだ気持は若く、体も動いております。今年も頑張ってまいります。

会員の皆様・越谷市民の皆様にとって良い年になることを祈っております。

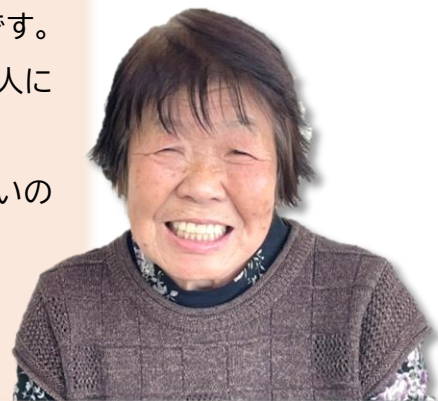
今年も宜しくお願いします。 会員番号 4640 鎮守 正昭会員（桜井地区）

私の就業先はごみ焼却炉前の介護施設「憩いの里」さんです。午前9時30分～12時30分の3時間、週4日通っています。家は恩間で自転車で30分～40分です。シルバーさんから最初のメンバーとしてお世話になり14～15年です。自分でも良く頑張ってきたと思っています。6人で入りましたが、現在は2人になりました。

最近うれしい事が有りました。病気療養中でした方が元気になられて「憩いの里」のデイサービスに通い始め、その方とお茶出来た事です。

卯年の83才、健康に気を付けてこれからも続けて行きたいです。

宜しくお願いします。 会員番号 3903 藤田 正江会員（大袋地区）



75才でサラリーマン生活にピリオドを打ち、地元になんか役立ちたいと思い人材センターに入会し、自転車整理等の業務に当たっております。

地元の方々から暖かい声をかけていただいたりして楽しく充実した日々を送っております。

趣味にも精を出し、とりわけ川柳、民謡、ジョギングに凝っております。川柳で頭を使い、民謡で声を出し、ジョギングで足腰を使うことで心身の健康に努めております。お陰様で7回目の年男を元気に迎えることができました。これからも地元の方々にご喜んでいただけるお手伝いをしたいと念じております。

会員番号 5808 築瀬 英世会員（大沢地区）





## 高齢者の交通事故が多発しています！

埼玉県では、高齢者の交通事故が増加しており、特に、高齢者は「歩行中」又は「自転車乗用中」の事故が他の年代に比べて多く発生する傾向があります。越谷市でも令和4年に発生した死亡事故6件のうち3件が高齢の歩行者で、6件中5件が夜間に発生しております。

### 交通事故を防止するためのポイント【歩行者の場合】

- ① 道路を横断するときは、「横断歩道」を渡る
- ② 横断歩道では、手をあげるなどのハンドサイン（合図）で横断の意思表示
- ③ 薄暮、夜間の暗い服装での外出を控え、明るい服装と反射材で自分を目立たせる



### 交通事故を防止するためのポイント【自転車の場合】

- ① 交差点では必ず一時停止し、周囲の安全を確認
- ② 車道では左側通行をし、急な進路変更はやめる
- ③ 夜間は明るい服装で暗くなったら必ずライトをつける



慣れた道ほど油断大敵です。上記のポイントを日ごろから実践・習慣付けるように心がけ、交通事故を他人事と考えるのではなく、交通事故にあう危険があることを常に意識しましょう。

また、今年度の当センターの事故状況を見ると、75歳以上の後期高齢者の割合が高くなっております。身体機能の低下が避けられないこの世代の方は、「自転車のふらつき」や「退避行動の遅れ」など特有の要因で事故にあうリスクも高くなりますので、特に注意して下さい。

## フレイル予防運動のご紹介 ～元気な体で安全就業を！～

### 座って「つま先あげ」

- ① イスの前半分に座り、背筋をすっと伸ばし、足を肩幅に開きます。
- ② かかとを地面につけたまま、つま先をすねにひきつけ5秒静止します。
- ③ 左右繰り返す。

※はじめは3回程度から、徐々に回数を増やしていきましょう(最大10回程度)



☆この運動はすねの筋肉を強くする運動で、この筋肉が強くなると、つまづきにくくなります。

## 入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。



### まずは説明会への参加申込みを

説明会は毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、お申込みください。お申込はお電話の他、ファックス・郵送でも受け付けます。

※ お問い合わせはお気軽にセンター窓口またはお電話（048-967-4311）で。



説明会のご案内は地区センターにチラシ設置の他、当センターホームページでもご覧いただけます。

### 納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしくみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話しします。

### 登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なこと経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会登録会では、お一人お一人のご希望を伺います。

#### ※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費（2,400円）がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。

#### 編集後記

記録的な暑さも季節の移り変わりには勝てず、徐々に秋も深まり寒い冬が今年もやってきました。コロナも三年になり、毎日感染人数の増減が報道されても、いいのか悪いのか？ 危機感がかなり鈍化してきました。中止にしていた各地のイベントも小規模ながら再開され、それなりに盛り上がり人々の絆の大切さを再確認した年でもありました。

越谷市も市民まつりや産業フェスタが開催され、シルバー人材センターのテントにも感染対策をしながら、沢山の人が野菜販売や毛筆筆耕の列に並んで頂きました。

今月号の表紙に掲載されている久伊豆神社は、国造り・縁結び・福の神として大国主命とその御子神である言代主命などが祭られています。感染が少し収まってきたら、穏やかな日々の暮らしを願うための外出として計画するのも一考かと思います。

土居 曜子（広報委員会 副委員長）